

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 142	提案機関名 水産課
<b>要望問題名</b> 資源管理計画が水産資源に与える資源管理効果の検証について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 平成23年から、計画的に資源管理を行う漁業者を対象に、水産物の安定供給と漁業者の収入安定を目的とした資源管理・経営安定対策事業が国により実施されている。本県でも多くの漁業協同組合が資源管理計画を策定・実施しているが、本計画の実施による水産資源への影響は明らかにされていない。そこで、各漁協が行っている本計画の水産資源に対する下記の措置に対する資源管理の効果について調査を希望する。 ① 現在、資源管理計画を策定している定置網漁業における1週間の休漁は、どの程度の効果があるのか(みうらの8漁場、初声の2漁場、長井町の3漁場、横須賀市大楠の2漁場、江の島片瀬、平塚の2漁場、大磯町、二宮町、小田原市の4漁場、岩の2漁場、真鶴町の6漁場、福浦) みうらは、マルタ、寺下、かねよ、唐池、共同、松新、金角、菊名生産 ② 東京湾における小型底びき網によるシャコの水揚げ量上限1日1隻あたり剥きシャコ80枚(横浜市漁協)及び剥きシャコ80枚、生シャコ25kg(横須賀市東部漁協)の妥当性 ③ 東京湾における小型底びき網によるナマコの水揚量上限60kg(横浜市漁協)及び65kg(横須賀市東部漁協)の妥当性	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター    ②畜産技術所 <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	水産技術センター	<b>担当部所</b>	相模湾試験場・栽培推進部
<b>対応区分</b>	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b>	①、②、④の場合) 沿岸漁業開発試験(相模湾)、複合的資源管理型漁業推進対策事業(栽培)		
<b>対応の内容等</b>	①相模湾の定置網での漁獲量等のデータについては、相模湾試験場で継続して取りまとめを行っています。このため、資源管理計画を実施したことによる影響等を漁獲量の観点から検証したいとの要望があれば、相模湾試験場から資源管理計画実施前と実施後の定置網漁業での漁獲データ等の提供は可能です。 ②低水準の資源をどう利用して行くかが課題であり、シャコを含め主要な魚種のモニタリングを継続し、資源管理の方向性について総合的な検討を進めてまいります。 ③ナマコの水揚げ量上限の妥当性やより効果的な管理手法については、既存の事業の中で検討していく予定です。		
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>			